

2024年10月28日

報道関係各位

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
ゲキダンイノ合同会社**<大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティプロジェクト>**

回遊視点のウォーカブル・新たなモビリティサービスの実現に向け

**低速自動走行モビリティ・遠隔監視型^{*1}による3台同時走行
実証実験を実施****2024年10月28日(月)～11月6日(水)**

(*1)遠隔監視の実施は3台中1台で実施・ほか2台については近接監視型(監視操作者1名随行)での運行

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(以下「大丸有協議会」)は、大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアにおけるスマートシティビジョンで掲げる都市のリ・デザイン像に基づき、ゲキダンイノ合同会社と連携し、**2024年10月28日(月)～11月6日(水)の期間、移動そのものを楽しむ新しい移動体験の提供によるまちの回遊を促す新しいモビリティサービスの実現に向けた、低速自動走行モビリティ(歩行支援型モビリティ)の3台同時走行について実証実験を実施**いたします。



昨年2月に実施した実証実験では、ゲキダンイノ社製モビリティ iino type-S712 が地上の公道を走行した日本初の事例として、歩道や建物内貫通通路等の公的空間において人とモビリティが共存する景観に対する社会受容性や安全性を検証することができ、一定の走行実現性があることを確認しました。

今回は複数台による走行、走行エリアの拡張、検証期間の延長、モビリティの提供する体験価値の拡充、そして初の遠隔監視型^{*1}による運用を通じて、より広く本モビリティサービスの必要性やまちの回遊型ウォーカブル性向上への寄与度を確認するほか、完全自動走行(遠隔監視)を想定した運営面の検証を進めます。

また、同時期に開催される東京国際映画祭と連携し、モビリティからビル壁面への映像投映や映画祭の雰囲気醸成するファニチャの設置による賑わいや新しい移動体験の創出、人々の回遊についても検証します。走行中のモビリティからビル壁面へ映像コンテンツを投映し、まちを回遊するメディアとしてモビリティを活用する日本初の事例となります。

**<前回からの主な変更点>**

- 検証期間：3日→10日間へ延長
- 走行エリア：丸の内仲通り→丸の内仲通り+有楽町周辺エリア
- 走行台数：1台→最大3台の同時走行

■ **走行レベル**：近接監視員 1 名、監視操作者 1 名が随行する「近接監視型」→「遠隔監視型^{*1}」（1 台）および監視操作者 1 名が随行する「近接監視型」（2 台）

■ **検証項目**：東京駅前である当地区での走行実現性や歩行者空間での共存可能性におもきをおいた検証→モビリティサービスとしての新しい移動体験・コンテンツによる回遊型ウォカブル性向上への寄与に関する検証やメディアとしてのモビリティの活用に関する検証。

【大手町・丸の内・有楽町地区リアルタイム回遊マップ「Oh MY Map!」との連携】



なお、大丸有協議会が構築する都市 OS と各種モビリティ等の位置情報やイベント情報等を連携し来街者に発信している大手町・丸の内・有楽町地区リアルタイム回遊マップ「Oh MY Map!」(*2)上において本実証実験関連の情報についても発信します。具体的には、モビリティ走行ルート、モビリティスポット/コンテンツ・スポットの位置情報および詳細情報、連携イベント（東京国際映画祭）の会場位置情報および詳細情報、アンケートクーポン対象店舗の位置情報および詳細情報、の情報連携を実施いたします。このような情報発信による、行動変容が起こった事例の有無やモビリティサービスの利便性が上がったと感じた利用者の有無を確認することで、モビリティサービスにおけるデジタルデバイスによる情報発信の回遊型ウォカブル性向上への寄与の可能性について検証を行います。将来的には、都市 OS に格納されている各種情報とモビリティおよびデジタルデバイスが連携し新しい移動体験、そのエリアならではのコンテンツの提供がなされることが期待されます。

(*2)Oh MY Map ! 専用ホームページをご覧ください : <https://maas.tokyo-omy-w.jp/>

本取り組みは、国土交通省都市局「スマートシティ実装化支援事業」の一環として実施。大丸有エリアにおける都市のリ・デザインのコンセプトである Smart & Walkable の実現に向け、新たな出会い・発見のあるまちに寄与する新たなモビリティサービスやリ・デザインの在り方を検証するものです。今後も Smart & Walkable の実現に向けて大丸有エリアはスマートシティ関連の取り組みを推進してまいります。

新しい低速自動走行モビリティ実証実験 概要



予定走行範囲(走行ルート)

- 丸の内仲通り **ルート 1** 有楽町電気ビル～丸の内6th通り
- 丸の内6th通り **ルート 2** 丸の内6th通り～新国際ビル Slit Park前
- 丸の内6th通り **ルート 3** 新有楽町ビル横歩道 ※主に歩道部分

回遊コンテンツ

- モビリティスポット / 都市を憩うオープンリビング**
 - 滞留スペースの創出 | 有楽町電気ビル / 仲通り側角
 - モビリティ情報発信
- モビリティスポット / 都市へ滲み出すシアター**
 - 東京国際映画祭関連の映像投影 | 有楽町ビル / 仲通り側入口付近
- モビリティからの映像投影 / 都市を再発見するモビリティ**
 - モビリティから閉館ビル壁面への映像投影 | 有楽町ビル壁面 / 新有楽町ビル壁面
- モビリティスポット / 都市を纏うレッドカーペット**
 - 東京国際映画祭関連の映像投影 | 新有楽町ビル / 有楽町駅側入口付近
- コンテンツスポット / 都市に集う裏路地**
 - トークイベント等の実施 | Slit Park YURAKUCHO (新国際ビル内)

※ベースマップについては東京国際映画祭 HP (<https://2024.tiff-jp.net/ja/access/>) より引用。

走行期間：2024年10月28日(月)～11月6日(水)

13時～16時 17時～19時30分頃 ※雨天時走行不可

走行場所：丸の内仲通りおよび有楽町周辺エリア(有楽町電気ビル～新国際ビル)

※走行は歩道部分(一部横断歩道を含む)

実証参加：事前予約不要。乗車希望者の方はルート上を走行しているモビリティに自由に乗降できます。また、ルートの発着場所となる①(有楽町電気ビル・仲通り側角)、④(新有楽町ビル・有楽町駅側入口付近)、⑤(Slit Park(新国際ビル内))では乗換制となりますので順番に譲り合ってください。

※混雑にてお待ちいただく場合がございますご了承ください。

乗車人数：最大3名/台

走行車体：ゲキダンイノ社製 iino type-S712 3台

最高速度：5km/h 運行速度：1.0～3.5km/hを想定

車両区分：遠隔操作型小型車 ※「遠隔操作型小型車の通行の届出」による走行ではなく道路使用許可を取得しての走行。

走行レベル：遠隔監視型(1台)、近接監視型(2台)(監視操作者1名が随伴)

実施主体：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

ゲキダンイノ合同会社

協力：東京国際映画祭、Slit Park YURAKUCHO、東邦レオ株式会社、株式会社 SpAcE、グッドモーニング株式会社、株式会社 NTT データ、株式会社 三菱地所設計、三菱地所株式会社



期間中、Slit Park YURAKUCHOにて「都市と移動」をテーマにしたトークセッションを実施します。

TALK SESSION

トークセッション

テーマ **都市と移動**

場所：Slit Park YURAKUCHO 参加費：無料 時間：1hour

都市と移動のこれから×iino ウォークラブルな都市で起こりうる新しい移動体験とは。建築・映像・移動について先鋭な取り組みを行う方々をお招きするトークセッションを実証実験の実施にあわせて実施します。是非ご参加ください。

<p>10.30 水 18:00-19:00</p> <p>株式会社日建設計 設計グループ 部長</p>  <p>羽鳥 達也</p>	<p>10.31 木 18:00-19:00</p> <p>ALTMY 一級建築士 事務所株式会社 ALTMY 代表 建築家</p>  <p>津川 恵理</p>	<p>11.02 土 15:00-16:00</p> <p>建築設計事務所 デザイナー</p>  <p>泉田 剛</p>	<p>11.02 土 15:00-16:00</p> <p>映像クリエイター</p>  <p>岡本 斗志貴</p>
<p>11.04 月 15:00-16:00</p> <p>株式会社 はじまり日和 代表取締役</p>  <p>柴田 大輔</p>	<p>11.06 水 18:00-19:00</p> <p>株式会社 三菱地所設計 チーフプランナー</p>  <p>渡辺 倫樹</p>	<p>11.06 水 18:00-19:00</p> <p>株式会社 三菱地所設計 プランナー</p>  <p>神谷 佳祐</p>	<p>MC FOR ALL 4 DAYS.</p> <p>ゲキダンイノ 合同会社 座長</p>  <p>嶋田 悠介</p>

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント本部 3 局 3 部

担当：内山 (070-4303-7327) / 田口 (090-7739-1083)

E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

【参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガール）、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」の3 団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステナブル・ディベロップメントを通じて、約 120ha のまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)
サステナビリティ/Research & Development/ 環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・事業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会
(リガール)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

【参考】大丸有エリアとスマートシティについて

大丸有スマートシティ推進コンソーシアム（千代田区・東京都・大丸有協議会）は、2020年3月に策定した「大丸有スマートシティビジョン・実行計画」に続き、「大丸有スマートシティ実行計画 詳細版 ver2.0」を2023年5月に策定しました。

URL : <https://www.tokyo-omy-w.jp/>

「大丸有スマートシティビジョン」では、大丸有地区の「まちづくりガイドライン」に示された「まちづくりの目標像」を実現するために、ビジョンオリエンテッドのスマートシティ化を掲げています。スマートシティ化をまちづくりの目標を達成するための手段として捉え、新たな技術や都市のデータを活用して、都市機能のアップデートと都市空間のリ・デザインを実現していきます。

デジタルと都市を高度に融合し、都市のリアルタイムデータを収集することで、データに基づいた意思決定を行う「エリアマネジメントのデジタルトランスフォーメーション（DX）モデル」「データ利活用型エリアマネジメントモデル」を確立することを目指します。また、都市の状況をリアルタイムに可視化・分析し、シミュレーションなどをすることが可能とし、まちの「創造性・快適性・効率性」が飛躍的に向上、都市の価値が増大することを目指します。

「Oh MY Map ! 」とは

大丸有エリアを訪れる人々のより充実した回遊体験のために、エリアで開催中のイベントや移動に関連する情報を発信しております。デジタルマップとして地下や防災情報も確認できる機能も搭載しており、エリアのインフラマップツールとして今後も更なる機能拡充を行っていきます。

▶ 「Oh MY Map ! 」を見る <https://maas.tokyo-omy-w.jp>

